

「自動車部品メーカーのグローバルサプライ戦略」調査を発行

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋 原務社長 03-3664-5811)は、6 - 8 月にかけて対象 関連企業、関連団体へのヒアリング調査をもとに各種文献調査を加えて、このほど「自動車部品メーカーのグローバルサプライ戦略」調査報告書をまとめた。

この調査では、日本自動車部品メーカーのグローバル戦略と、その方向性を解明するため綿密に各メーカーの情勢を聴取し、完成車メーカーの今後の戦略に照らした分析を行う事により、変化の激しい業界の現状と将来展望を明らかにした。

いまや日本の自動車部品メーカーにとって国際的な競争力として資本力、研究開発力、技術力、供給力、価格力などが必要不可欠となり、完成車メーカーの要望に対応できなければ業界内での生き残りが難しい状況に直面している。

このような状況の下、部品メーカーの供給体制はワールドワイドマーケットを視野に入れた海外・国内メーカーとの提携、単独での海外市場への進出を含め変貌を遂げている。完成車メーカーからの要請に応えるべく事業戦略を練る部品メーカーの動向は、まさに完成車メーカーの方向性を示唆する「指針」とも捉えられる。また、技術・事業提携を結ぶことにより部品調達の優位性を図る動きも見受けられ、今後の部品メーカーの競争は熾烈を極めるものと考えられる。

総括編でははじめにアジア、北米、ヨーロッパの完成車・部品市場を展望した。

北・中南米では、部品のシステム化需要が高く生産一貫体制が加速する。中南米がそのグローバル供給の生産拠点となる。

欧州では、環境対応型部品、システム・モジュール型部品の需要が高いが東欧の各メーカーがその生産拠点の中核となる。

アジアでは、中国が生産拠点の中心へとシフトし、タイも生産品目増加、生産増加が進む。いっぽう日本は生産体制の見直しにより生産品目を特化し、開発拠点、高機能部品生産へと進む。

このような背景から、まず部品をエンジン系、駆動系、シャシ系、内装系、電装系、車体・その他の部品分野に分けてそれぞれについて9つの戦略項目(海外生産拡大、外注化加速、コスト競争、モジュール化、システム統合、現地調達など)で位置付けした。

地域別生産・供給体制の実態については、73社の生産拠点、供給先、規模・内容を北・中南米、欧州、アジアの市場別に一覧表にし、さらに主要62社が取り組む今後の材料・関連部品の調達採用動向をまとめた。さらに、主要24部品の各メーカーが取り組むグローバルサプライの現状と課題、新規開拓の方向も調査。

最後に日本3大自動車メーカーの2003年～2005年のグローバル戦略シナリオを分析して収録した。

企業編で個別に分析した部品メーカーは100社。

各メーカー別に

- 1) 企業概要
- 2) 世界4極を拠点とする生産・供給体制の現状
- 3) グローバルサプライへの取り組み
- 4) グローバル化における課題・問題点
- 5) 材料・関連部品メーカーへの要望
- 6) 完成車メーカーの要望に対する取り組み
- 7) グローバルサプライに向けた今後の取り組み・方向性
- 8) 有望市場への見解(市場特性等)の項目について記述した。

以上

資料タイトル：自動車部品メーカーのグローバルサプライ戦略

体 裁：A4判 262ページ

価 格：105,000円(本体価格100,000円 消費税5,000円)

発刊日：2002年8月29日

調査・編集：東京マーケティング本部

TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514

発 行：(株)富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2 - 5 F・Kビル

TEL：03-3664-5811(代) FAX：03-3661-6093

e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL <http://www.fuji-keizai.co.jp>